

スナップ

○出席をとるとき、ひとりの子どもを抜かしてしまった。私がしまったと思ったとたん、

Y君「先生、言いのがれたな。」

みんな爆笑。本人も

「いっけねエー」

T君「それを言うなら言いのがしたな、だろう。」

S君「いや、それを言うなら、言い抜かしただよ。」

(S 51・9月 五年生男子)

○六年三組だけクラスの担任が変わった。

A「ね、ね、三組だけ先生変わったんだって」

B「うん」

そこへ私が通りかかったのを見て

B「だって、かわった先生だもん」

洒落のつもりか、路線を変えたのか。(S 52 4月 六年女子)

○四月当初は委員会活動で、委員長を決める。選ばれた委員長の弁

Nさん「私は〇〇です。ふっつか者ですがよろしくお願い致します。」

しゃっちょこばってなかなか上手に司会が出来ない。するとM君がM君「全くふっつか者だよ。」少し考えて「だからそうことわったのかな。」(S 52 4月 六年男子)

○クラブ指導担当が野球部になった。まず初めに演説する。

T「私はみんなより、下手だと思ひますが、そこは、カバーしてほしいと思う：云々：」

クラブの時間が終って、キャプテンが

K「へっ、先生尊敬しちゃって」

(S 52・4月 六年男子)

○理科の教材にたまごの成長がある。となりのクラスはヒヨコが生まれて大さわざ、うらやましいのか、

O君「ひよこが生れてさ、となりのクラスは、大人げないんだぜ。」

Y君「そうだよな、ヒヨコは子どもだもん。」とボソボソ

(S 52・5月 六年男子)

○新教育課程の移行措置で、学校裁量の時間が出来た。その名に「児童活動」とつけている。

まだ、路線が決まらないので、私が学級会と同じようにしている

S君「先生児童活動って、ぼくたち活動するんでしょ。なんだか教師活動みたい。」手厳しい。(S 52 5月 六年生男子)

○男子が泣くとき

始業のベルが鳴ったので、教室に行ってみると、H君が泣い

ている。なかなか理由を言わない。泣かしたと思われる子に聞く

O君「ぼく、ちょっと言っただけだよ。」

T「何を？」

O君「H君とIさんの洋服おそろいだねって。」

二人は並んでいて、その日は赤と黒のシマのシャツを二人とも着ていた。Iさんは黙っていて、H君はくやし泣きをしている。私も思わず、ニヤリとしてしまい、よけい彼を傷つけてしまったので、急いで

T「でも、あなたは、その服とってもよく似合うよ。」と言うとにこっと笑って、その子は毎日それからその服ばかり着てくる

反対にIさんは、決してそのシャツを着てこない。

(S 52 5月 六年生男子と女子)

○教室に行ってみるとO君が泣いている。どうしたのかと理由をたずねても答えない。隣の子に聞くと、

Y君「O君がね、おかわりをしたら、誰かが「いやしいよ」っていったんだよ。」

T「だれだ。」

M君「ぼくはそんないやしいなんて、感情のことはば使いませんでした。」

Y君「言ったね。それから、O

君が泣いていたら、いじけてる。なんてことも言ったんです。」

N君「そうだよな。だからよけい泣いちゃったんだよ。」

いじけている、いやしいは品格を示すことばなのだろう。

(S 52・5月 六年生男子)

○隣のクラスの子どもが生れたヒヨコを見せに来た。各班毎に呼んで見せる。箱に入れてきて、ずっと持っているの、重いらしい。いいかげん、いやになったらしく、

A君「もうごぶさたしたいよ。」

(S 52・5月 六年生男子)

○このごろ反省会で意見が白熱する。

M君「ぼくも悪かったと思いますが、Aさんも改めてほしいと思います。」

I君「だいたいM君は反省しているのに、Aさんは反省の色がないと思います。」

Y君「へっへー 反省に色なんてあるのか。」

(S 52・5月 六年生男子)

○代表委員会のある日、色々な委員を兼ねているS君が、私の所に困った顔をしてきた。

S君「先生、ぼくは代表委員できょうの代表委員会に出なければいけないんですけど、

農園委員会の委員長でもあるわけでもくはどちらの顔をしておいたら良いのでしょうか。」

人材の少ない今年の六年生、さすがにこの子は顔役である。

(S 52・5月 六年生男子)

○野球部の指導担当になってから、野球部の子どもに会うと、みんなにやにやする。

キャプテンに会ったので

T「オノキャプテン、オッス」というと

K君「なんでエー コーチ。」

T「かっこいい、キャプテンだな。」

K君「へっへ、カントク。」

T「たのむぞキャプテン。」

K君「かんとくさんヨロシク。」

(S 52・5月 六年生男子)

○給食の時間、私が手を洗いにやって、教室に帰ってきて、ドアを閉めないとY君が、

Y君「先生、あけたら、ちゃんとしめなさい。」

と、いばって言う。

T「すいません。」

と閉めに行くと、

Y君「わぁー一本とってやったぞ。」

(S 52・5月 六年生男子)

と、大喜び。

○S君が深刻な顔をして私の顔

をのぞき込むようにして言う。
S君「先生、ぼく小学校、もうあきちゃったよ。」

T「早く中学に行きたいの。」
S君「いやそうでもないんだけど、なんかこのごろ、みんなとすることに疲れを感じるんだ。」

T「じゃあ、勝手させてもらえば？」
S君「そんな一番勝手させてくれないのは先生じゃないか。」

そう言えば一番コキ使っている子であった。
(S 52・5月 六年生男子)

○進学を希望している児童の母親から、面接希望の電話があった。連絡帳に希望日を書いて渡そうと思ったが、思うように日にちがとれない。五日後に、その日を記入して渡すと、
M君「先生、単に五月十六日と書くだけで、五日間もかかったんですか。」
(S 52・5月 六年生男子)

○知ったかぶり
ノートに答えを書かせている最中、つい月日を見ていらん事を言ってしまった。
T「そういえば、きょうは十三日の金曜日だね。」
I「ほんとうだ、いやだなあ。」
O「なんで、そうなの。十三日

の金曜日って何だい。」
これで、どっと大笑い。そしてからかうように
I「おまえ、十三日の金曜日も知らないのかよう。」

O「知っているサ、ちょっと聞いてみただけだよ。」
Y「じゃ、言ってみろよ。なんだから。」

O「そりゃあ、十三日の金曜日さ。」
I「キリストが死んだ日なんだよ。」
O「そうさ、命日さ。」

もう、ここで話を打ち切らせた。寸暇を惜しんで授業をつぶそうとする魂胆が見える。それにしても、知ったかぶりはげしい。(S 52・5月 六年生男子)

○気取り屋
屋上でかけの観察をやり終って、日だまりの中で子どもたちが、てんでに寝ころがっている。いろいろな寝すがたが出来たがその中でM君だけが、足を組んで、頭の下に手を組み静かに目をとじている。私はおかしくて思わず
T「M君を見てごらんよ、気取っちゃって寝ているときまで気取っているよ。」

すると、みんながワーワーそばに行き鼻にさわったり、わざと目をあかせようとしたり。しか

し、ついに、その屋上から帰る笛の合図があるまで、その姿でがんばっていた。
(S 52・5月 六年生男子)

○身内
父親参観の前日、一生懸命清掃を手伝っているとき、
S君「どうして、きょうはこんなにきれいにするのですか先生。」

と、にやにやしながら言う。
T「明日お客さんが来るからよ。」

S君「お客さん？ あっおとうさんの事、ありゃ客じゃないよ。身内だよ。」
(S 52・6月 六年生男子)

○男の恥
泣きたい思いという題で作文を書かせてみた。題を黒板に書くとき、どよめき
O君「おれ書けないよ。なかなかいもん。」クラスで一番泣き虫である。
I君「そうか、おまえよくなくじゃん。」
O君「いやーあれはくやしがつているだけさ。」

I君「でも涙なんか出てくるぜ。」
O君はもう泣きそうである。
M君「ぼくはこの題では書きたくありません。」
T「どうして。」

M君「理由も言いたくありません。」
T「無理でも書くこと。」
あとで、M君の作文を見てM君をよぶと

「泣くことは男の恥です。恥なことなんて書きたくありません。」
と、きっぱり。

(S 52・7月 六年生男子)

○目にさわる
そろそろ夏休みも近くなった学期末、テストの採点で、おおわらわ、放課後教室でマルつけをしていると、清掃の子がすぐ近寄ってきて点を見ようとする。

T「まじめに当番をしない。」
K君「先生どっかへ行つてよ。どうも先生がいると目にさわるよ。」
M君「え？目にさわるって」
T「目にさわるね。」とニヤニヤしていると
K君「おかしいか。そうだ気にさわるよ。」

T「気にさわるね。」
T君「それを言うなら目ざわりっていうんじゃない。」
(S 52・7・13)

N君私にけしごむくれるの。」
T「ばくちだな。よくない。ところでTさんはN君に何をあげるんだ。あ、そうか一枚脱ぐんだな。」

みんなヤナ顔、ひやかして私も内心あまり良くないことを言ってしまったと後悔したとたん
S君

S君「先生そういう言い方やめてほしいな。ぼくはきらいだよ。いつもZ先生なんかすぐ男とか女の話をするからいやなんだ。だからそういう言い方よして下さい。」

きっぱり言われたので、エリを正して
T「ごめんね。あやまる。」
というとき、ほっとしてニコニコ笑う。なんとなくますますそのS君が好きになってしまった。
(S 52・7・15)

○ひとつのリクレーション
林間学校で男子が女子の部屋からかきに来る。
Aさん「先生、男子がスリッパを投げるんです。」
Iさん「のぞくんです。」
私が男子のところへ怒りに行く

と
M君「わかっています。おこられる理由は。」
T「そうか。おこられるためにやっているようだな。」

M君「ええ、ひとつのリクレー
ションです。これも、はい。」
と頭を出す。

私も出された頭をなんとなく
ボカリとする。(S52・8・1)

○山に登っていて、中学生の一
行と行き合い中学生がダウン寸
前。その前を行くと中学生が、
「ガキのくせに生意気だ。」と
言う。

M君「ガキだって、ぼくらのこ
とガキだって。」

C君「生意気なのは、あっちだ
よね、先生。」

T「うん？」

M君「だって、登れもしないの
に。ガキだなんてばかにして
さ。」

C君「そっだよ。ああいう人を
ブジョクしたことは気に入ら
ないな。」

ガキということば、上下のこと
ばに敏感になっている。

(S52・8・6 六年男子)

○みとれる

給食の時間が食べ終って、
ぼーと子どもを見ていると、他
の子が私を呼んでいる。

S君「先生みとれちゃってさ。」
今度はそちらをふり返って見て
いると、

S君「いやだな。先生にらみつ
けちゃって。」

T「同じ顔をしているよ。」

S君「いや、さっきは魂がなくな
って、ぼくたちを見ているとき
はあくどい根性が見えるよ。」

(S52・12・上旬 六年生男子)

○算数の時間、私が聞きまちが
えをした。

N君「あ、先生耳まちがえた。」

T「ええ？」

みんな「アハ……」

Y君「それは聞きまちがえただ
ろう。」

T「先生も、口まちがえない
ようにしよう。」

M君「先生、人のまちがいをい
つまでも言うのは良くないよ。」

(S52・12・上旬 六年生男子)

○意識と意志
卒業文集のなかがなかなか
書けない。もうS君は四回目だ
ある。私が読んでなかなか何も
言わないので打診してくる。

S君「あーあの顔じゃ、だめ
だったことだな。これを洗
顔って言うんだろな。」

等、いろいろ言う。

「自分と将来と」という題で書
かせたので、自分とそれから時
間の流れの中にある自分の意識
のことだと、意識ということば
を教える。

「うーん、わかったよ。なん
となく」次の日また持ってくる。

ずいぶんすっきり整理されて
書いてある。

T「S君、君、意識ってこと
ば教えたでしょう。」

S君「うん、でもぼくどうして
も意識って使えなかった。意
志は使えるけど。」

そうかもしれない。

(S52・12月上旬 六年男子)

○二学期の片付けをしていると
きに、Kさんが、

Kさん「先生、私が五年生のと
きS先生が私のこと、先生に
似ているって言われて、いや
になっちゃったんだよ。」

T「どうして、いやになるの。」

Kさん「いやじゃない。それに
その時、先生に似ているとい
うのを聞いていた男子がその
ことを根にもって、いまでも
言うんだよ。」

(S52・12/25 六年男子)

○五才の男の子
ぶどうのたくさん入っている
ぶどうパンをぶどうだけをよっ
て食べている。

母親「Fちゃん、ぶどうばっか
り食べないであとで、パンも
食べるのよ。」

Fちゃん「わかってるよ。で
も、まだまだなあ。」

母「何が？」

Fちゃん「このパンだよ。」

(以上町田三小・
小泉節子教諭報告)

○二年生の男子

パチンととめる大きなクリッ
プをいじりながら見ている子が
いる。

T「それ、何って言うのか知っ
てる？」

C「？」

T「目玉クリップっていうの。」

T「どうしたの？」

C「きずついた。」

C「だって、ぼくが目玉が大き
いからでしょ。」

(以上町田三小・
峰尾富美子教諭報告)

○スナップ1 大正小五の二
算数ドリル2と3の宿題を忘
れたO君が、放課後ノートを開
き始めたとき、△君が来て、

△「O君、3だけやるの。」

○「うーん「う」だけやればい
いの。さんすうの「う」の分
だけ。」

△「そうか。「さんす」はやっ
て「う」だけか。じゃすぐだ
ね。」

○スナップ2

脚本の学習、「君何するの。」
のせりふを順に言わせたとき
後藤(てれながら)

上野大声で「きさなせりふだね
え。」(爆笑)「いやいやだし

わざとらしいノヤッぱり、きさ
なせりふだねえ。」

○スナップ3

「木龍うるし」の権八について、
中村さんの意見と母親の意見と
対立した。その報告から

中村「私は、ずるい権八はきら
いだっていったらお母さんは、
人間は、ずるい位でなけりや
だめだから、権八のずるいと
ころは、いいところだと思
うのよ。でも私は、やっ
ぱり、いやなものはいやだか
ら、そういったら、けんかみ
たいになっちゃった。」

先生「それで、お母さんの意見
について、あなたは、どう思
うの。」

中村「お母さんは、ずるい位で
なけりやお金があるからな
いなんていうんだもの。家計を
あずかっていると、そうなる
のかもしれない。心がまがっ
ちゃって、やだなあと思う。」

(以上大正小・
市山仁美教諭報告)